

令和3年10月29日

菊川市長 長谷川 寛彦 様

菊川市議会議長 松本 正幸



菊川市議会政策討論会からの提言書
「ゴミ削減対策について」

菊川市は、循環型社会構築を図るとともに、地域の水資源の環境を保全するために「一般廃棄物処理基本計画」を平成18年3月に策定した。また、静岡県は世界規模での海洋プラスチックごみに対応するために、令和元年5月から「静岡県海洋プラスチックごみ防止6R県民運動」を展開している。菊川市の市民一人当たりのごみ排出量の少なさは県内でもトップクラスで、分別収集等のリサイクルに関しても意識を高く持ち、積極的に取り組んで頂いている。このような菊川市の現状で「ゴミ削減対策について」をテーマに取り上げた目的は、資源ギャラリーのリプレース問題からごみの発生量を更に少なくする必要があることと、地球環境問題を捉えての事由にある。

菊川市として更なるごみ発生量の削減およびリサイクルの推進を行って「環境モデル都市」に選定されるような取組みを進めて行くべきである。

課題の深掘りを行うことを目的として、政策討論会テーマを分科会ごとに細分化し、各分科会にて「現状把握」「問題点の洗い出し」「対策」について調査・検討を行った。その結果を政策討論会全体会で取り纏め、提言書を作成した。

本提言に対する検討結果については、11月末までに報告をお願いします。

記

- 1 ゴミの排出量削減およびリサイクルの目的について各世代へのアプローチを出前行政講座等で積極的に実施すること。出前行政講座のメニューも、ゼロ・ウェイスト(7R)、マイクロプラスチックによる環境汚染問題等を取り上げて、さらなるゴミの排出量削減に対する意識の向上を図ること。
- 2 「食品ロスの削減に関する法律」を柱とした事業者と消費者が一体となった食品ロス削減への取組みを推進すること。
- 3 焼却処理量の低減のため、重量割合の多い生ゴミを減らすことが出来る「家庭用生ゴミ処理機」の普及について補助金の増額等を含めて検討すること。

- 4 リユース可能な物品を受入れる常設ステーションを新たに設置し、不要品バンク的な環境でのリユース促進を検討すること。また、リユース促進に寄与しているフリーマーケット主催団体への開催場所の提供等の支援を検討すること。
- 5 家庭で出来るゴミ削減対策の推進を促すことを目的として、「我が家のリサイクルプラン」(仮称)の策定および食品ロス削減・雑紙回収等の啓発用マグシートの全戸配布を検討すること。
- 6 事業系一般廃棄物の低減を図ることを目的とした調査・研究を行い、その結果を反映した施策を実施すること。

以上